

題目（英語）：Combined assessments of Quality-of-care-relating medical professionalism

（邦題：ケアの質に関連するプロフェッショナリズムの評価）

医学専攻 社会医学研究分野 医学教育学

学籍番号：18M3015

氏名：Pham Duong Uyen Binh

研究指導教員：吉田 素文

副研究指導教員：矢野 晴美

キーワード：プロフェッショナリズム ケアの質 相互評価 シナリオ基盤型評価 自己動機付け

1. 研究の背景と目的

Quality of Care (QOC) は、多くの医療現場における究極の目標である。世界保健機関 (WHO) は、安全性、有効性、公平性、および人間中心性を含む医療の質の指標を追加した¹。優れた医師は、QOC の継続的な改善に専念する必要がある。これには、臨床能力だけでなく、医療過誤を減らし、医療リソースの過剰使用を最小限に抑え、治療結果を最適化するための医療専門職間連携も含まれる²。医療プロフェッショナリズムと QOC の間には関連性がある³。プロフェッショナリズムは、多様な文化や国の伝統に対応するために、QOC への取り組み、患者や同僚との交流、専門的能力などの専門職としての責務を強調する、医療と社会との契約の基盤である²。QOC を維持する行動傾向に反映される、4つのプロフェッショナリズムの構成要素には、「能力の限界に関する自己認識」、「専門職の習慣」、「QOC を確保すること」および「社会的責務」が含まれる。

一方、医学部はカリキュラムにプロフェッショナリズムの内容を取り入れているが、学生のプロフェッショナリズムを測定するための有効かつ信頼できる評価方法は不十分であった。その結果プロフェッショナリズムのための多数の評価方法が開発された。しかし、どの評価方法が「優れた医師」を育成する目的で、QOC 関連のプロフェッショナリズムを測定できるのかについては、未だ報告されていない。可能性のある解決策として、学生による相互評価、プロフェッショナリズム質問紙、シナリオ基盤型質問紙などが挙げられている。これらの開発された評価方法に加えて、学生のキャリアに対する自己動機付け、個人特性、そしてワクチン接種への対応などの非学力データが学生のプロフェッショナリズムを予測すると報告されている⁴。

この研究では、QOC に関連する 4つのプロフェッショナリズムの構成要素の評価に関連する複数の評価方法について、どれが最も適切な評価方法なのかを評価した。さらに、QOC に関連する専門家の属性に対する予測能力を確認するために、いくつかの非学力データも調査した。我々の目的は、(1) 学生による相互評価、米国内科専門医機構によるプロフェッショナリズム質問紙、およびシナリオ基盤型質問紙 (拡張 Barry 質問紙) の妥当性と信頼性を明らかにすること、(2) QOC に関連する 4つのプロフェッショナリズムの構成要素に関する学生の考え方を明らかにすること、そして (3) キャリアに対する動機付けと QOC に関連する 4つのプロフェッショナリズムの構成要素との間の関係を明らかにすることである。

2. 方法

2020 年 6 月から 2021 年 4 月までの期間に研究データを収集した。上記の医療プロフェッショナリズムの評価と自己動機付けの調査を研究材料とした。ベトナムのホーチミン市医科薬科大学 (HUMP) の 2,039 人の学生、148 人の日本の国際医療福祉大学 (IUHW) および HUMP との合計 37 人の専門家が研究に参加した。専門家が英国の General Medical Council および Barry の質問紙のシナリオおよび質問の内容と、被験者の学年との関連性を評価した結果を、デルファイ法を用いて分析した。また、収集された複数の評価方法における学生のスコアは、検証的因子分析 (CFA) や SPSS 26 の回帰統計などの統計モデルを用いて分析した。これらのモデルは、これらの評価方法における妥当性、信頼性、および予測能力に関連している。

学修評価・調査	研究参加者	学年
学生による相互評価	IUHW 医学部学生 148 人	1 年次

米国内科専門医機構による プロフェッショナルリズム質問紙	HUMP 医学部、伝統医学部学生 2,039 人	1～6 年次
自己動機付け調査	HUMP 医学部学生 218 人	
シナリオ基盤型質問紙	HUMP および IUHW の医学専門家 37 人 HUMP 医学部学生 355 人 IUHW 医学部学生 148 人	

3. 倫理上の配慮

本論文の調査・研究は本学倫理審査委員の承認（承認番号：19-Im-026）を受けて行った。

4. 結果

学生による形成的相互評価の方法の中では、ルーブリックだけが、発言の質やグループワークの際の態度など、学生のグループ討議への貢献度レベルを予測できた ($p < 0.05$, $CI = 1.033-1.557$)。さらに、検証的因子分析により、HUMP の医学部と伝統医学部学生の QOC に関連する 4 つのプロフェッショナルリズムの構成要素に対する認識の測定において、米国内科専門医機構プロフェッショナルリズム質問紙が構成概念妥当性を有することが示されました。「自己認識」が最も重要であり、「社会的義務」が最も重要でない構成要素であると認識されていました ($M = 4.44$; $M = 4.21$)。シナリオ基盤型質問紙の内容妥当性については、27 ケース中 10 ケースが専門家パネル（ベトナムの HUMP と日本の IUHW の 37 人の医学教員のうち 30 人以上によって選択された）によって、異なるトレーニングレベルの医学生へのテストに適しているという高い合意形成が得られた。HUMP の学生の自己動機付けは、患者にとって医療へのアクセスの改善が重要であるという認識と関連していた ($p < 0.01$)。

5. 考察

この調査では、4 つの QOC 関連のプロフェッショナルリズム構成要素を測定できる評価方法を特定した。評価方法には、学生がグループ討議を行う際のルーブリック基盤型の学生による相互評価、専門家の態度に関する米国内科専門医木興港プロフェッショナルリズム質問紙、および 4 つの QOC に関連する専門家のジレンマに関する手続き的知識を測定するためのシナリオ基盤型質問紙が含まれる。これらは、医療安全、個人情報保護、チームワーク、能力の限界に関する自己認識など、4 つの QOC に関連するプロフェッショナルリズムの構成要素を測定するシナリオである。さらに、学生の自己動機付けなど、他の非学力データは、社会的義務に対する学生の認識を反映している可能性がある。これらの調査結果は、上記の評価に関する先行研究の結果に合致している^{5,6,7}。これらの調査結果により、教育者は、さまざまな QOC 関連プロフェッショナルリズムの構成要素に関連する評価方法を選択する際に、より多くの情報を得ることができる。

6. 結語

医師による質の高い医療の提供を促進するプロフェッショナルリズムの構成要素は、医学教育において考慮されるべきである。この研究によって、複数の評価形式に自己のキャリアに関する動機付けやワクチン接種などの学力以外の学生のデータを使用した包括的な方法で、4 つの QOC 関連のプロフェッショナルリズムの構成要素の評価することが勧められる。キャリアの自己動機付けは、プロフェッショナルリズム教育プログラムの入り口として開発できる可能性がある。これらの知見をもとに、医学教育者は良い医師を養成するプログラムの改善に自信を持つことができる。

7. 引用文献

1. World Health Organization. Quality of Care: A Process for Making Strategic Choices in Health Systems. World Health Organization; 2006.
2. Medical professionalism in the new millennium: a physician charter. *Annals of Internal Medicine*, 01 Feb 2002, 136(3):243-246
3. Cavers B. Quality of patient care and professionalism are intertwined. *B C Med J*. 2014;56(6):263.
4. Wilkinson, T. J., Wade, W. B., & Knock, L. D. (2009). A blueprint to assess professionalism: results of a systematic review. *Academic medicine*, 84(5), 551-558.
5. Tokuda, Y., Barnett, P. B., Norisue, Y., Konishi, R., Kudo, H., & Miyagi, S. (2009). Questionnaire survey for challenging cases of medical professionalism in Japan. *Medical teacher*, 31(6), 502-507.
6. Nhan, V. T., Violato, C., Le An, P., & Beran, T. N. (2014). Cross-cultural construct validity study of professionalism of Vietnamese medical students. *Teaching and learning in medicine*, 26(1), 72-80.
7. Speyer, R., Pilz, W., Van Der Kruis, J., & Brunings, J. W. (2011). Reliability and validity of student peer assessment in medical education: a systematic review. *Medical teacher*, 33(11), e572-e585.